



開催日時

令和2年11月16日(月)
13:30~16:30

開催場所

那覇港泊ふ頭久米商船フェリー内
(座学・体験学習)

対象者

一般旅客定期航路事業者の
船員・職員、一般の方

主催・協力

主催:内閣府沖縄総合事務局
開発建設部・運輸部
協力:久米商船(株)

バリアフリー教室

参加無料

1 バリアフリーについての座学

13:30~

障がい者や高齢者とのコミュニケーション方法及び介助方法や器具の取扱い等について勉強し、バリアフリーについての理解を深めます。



2 フェリー内にて体験学習

14:30~

車いす、耳栓、アイマスクや高齢者疑似体験装置(ヘッドホンや特殊眼鏡、手足の重り等)を使用して、日常生活の動作を疑似的に体験することにより、障がいがある方の気持ちや介助方法、コミュニケーションの取り方を体験的に学びます。

【宛 先】 E-mail : unyu-kikaku.j2a★ogb.cao.go.jp ※「★」を「@」に置き換えてください
または Fax : 098-860-2369 内閣府沖縄総合事務局運輸部企画室 當真、野原あて

参 加 申 込 書

11月13日(金) 必着

ご所属	お名前	ご連絡先(電話番号)

令和2年度「バリアフリー教室」概要

内閣府沖縄総合事務局

1. 趣旨・目的

高齢社会の到来や障がいのある人の社会参加への要請の高まりなどに伴い、建築物、道路、公共交通などでは、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に基づきバリアフリーの取組みが進められてきています。

しかし、ハード面でのバリアフリーだけでなく、心のバリアを取り除き、多様な人々の存在をお互いに理解し合い、支え合うことが大切であり、一人一人が、さまざまな人の不便さや不自由さを自らの問題として認識し、その社会参加に積極的に協力する「こころのバリアフリー」を推進する必要があります。

このため「バリアフリー教室」を開催し、健常者による車いすの利用体験、高齢者・障がい者等の擬似体験、介助体験等を行うことにより、バリアフリーについての理解を深めるとともに、ボランティアに関する意識を醸成し、誰もがお年寄りや障がい等のある人に対し、「お手伝いしましょう」とごく自然に声をかけてサポートできる「心のバリアフリー」社会の実現を目指しています。

2. 実施概要

- (1) 日 時：令和2年11月16日（月） 13：30～16：30
- (2) 場 所：那覇港泊ふ頭久米商船フェリー内
- (3) 参加者：一般旅客定期航路事業者の船員・職員、一般の方（20名程度）
- (4) 主 催：内閣府沖縄総合事務局
- (5) 協 力：久米商船（株）

3. 実施内容

- (1) バリアフリーについて座学
介助方法や器具の取扱い等についての説明など
- (2) フェリー内にて体験
車いす、耳栓、アイマスクや高齢者疑似体験装置（ヘッドホンや特殊眼鏡、手足の重りなど）等を使用して、日常生活の動作を擬似的に体験することにより、障がい当事者の気持ちや介助方法、コミュニケーションの取り方を体験的に学びます。
- (3) 意見交換（アンケート等含む）